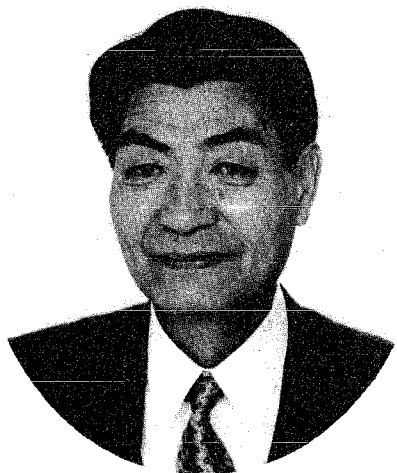


謹賀新年



小須戸町長
佐藤太加志



新年おめでとうございます。

昨年二月十二日に町長の任に就かして頂いてから、早くも十ヶ月余が経ち、初めての正月を迎えることとなりました。この間毎日々々走るがごとくに、無我夢中に過ごしてまいりましたが、町民

の皆様の温いご指導ご協力のお陰をもちまして清々しい気持ちで越年することができ、衷心より感謝申し上げます。

顧りみますとこの一年、国内外に於いていろいろのことが起りました。特筆すべきは、ソビエト連邦の危機、内ではパプ

経済の崩壊、雲仙普賢岳の火砕流と国や地域に大きな影響を及ぼすできごとに驚かされました。

当町では、十九号台風による果樹や園芸施設等にして建築物等に大きな被害を受け真に悔まれますが、他にこれという事件もなく、本当に住みよい、

いい町だなあ、と痛感している次第であります。そしてこのいい町の特徴を生かして、都会の人や他所の人達が羨むような明るく活き生きとした、よりよい町づくりが期待されるのであります。

ありがたいことに道路網も着々と整備されてまいりました。念願だった五泉までのあの山越え道路も立派になりましたし、

国道四〇三号バイパスの建設工事も着々と進んでおります。

また自転車利用者や歩行者の危険をおびやかしている小須戸橋にも歩道橋が平成四年度中にはその姿を見せてくれるようであります。一方では矢代田駅裏の大規模宅地開発、新しい都市計画に沿って人口増加の兆もみえてまいりました。

これらの変化の中で生活関連の事業の増加や整備も急がれるところであります。さりどて、花と緑、の

ようにきれいで清らかな優しい町民性は大切にしていきたいかなければなりません。豊かな心で住みよい町づくりを基本として、きめ細かな福祉のあるまち、を築かなければならないと思っております。

行政などと申しますと、ちょっと固い感じがいたしますが、内容は一般家庭や企業と同じようなものであります。目標をしっかりと定めなければなりません、計画もしっかりと立てなければなりません、そして実行しなければなりません。また花

を咲かし、果実を成らすのとも同じでもありませぬ。種子を播き苗を植え、水をやり予防や手入れを根

を咲かし、果実を成らすのとも同じでもありませぬ。種子を播き苗を植え、水をやり予防や手入れを根

ろには皆さんにご報告できるとおもいます。町の町勢発展の為に、議員の方々も皆さんの代表として一生懸命ご努力をされ、願ひ申し上げます。

末筆になりましたが、皆々様の一層のご多幸を祈念申し上げます。あいなさつと致します。

平成

四年は申年です。サルは、桃太郎やサルカニ合戦にも登場する、おなじみの動物です。

ひとくちにサルといっても、体重や種類など、実にさまざまです。ゴリラなどは大きなものでは、体重約二百キロ以上もあります。一方、マダガスカルにいるミミケコビトキツネサルは、体重四十五グラムほどです。また、大きなシツポをもち、木の上で生活する原猿(下等霊長類)のなかには、一見リスに似たものもいます。そのほか、オラウータンやチンパンジーなどのように、ヒトニサル(人似猿)といわれる、高等霊長類もいます。

今年

は申年

に生息しているのは、ニホンサルで

や日本書紀にも登場し、道案内をするサルタヒコノカミは、サルであるともいわれ、いまでは道祖神としてまつられて

置いて共存するのが自然ではないでしょうか。サル年を機に、こんなことも考えてみませんか。